

三体千字文を書く(5)

締切り 五月二十五日(必着)



奥村憲照先生書

□作品の出し方

- ▼硬筆部 B5判(二五七mm×一八二mm)以下の紙に書いて下さい。用具は自由です。(黒色に限る)
- ▼毛筆部 B5判に書いて下さい。(筆ペン可)
- ▼出品制限の対象とはしませんが、出品は硬毛のどちらか一方に限ります。
- ▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・硬筆規定の成績(毛筆の場合は毛筆漢字の成績)を、作品余白にお書き下さい。
- ▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

◆硬筆の専門誌だった大書心に一般毛筆部が設立されたのは、昭和五十六(一九八二)年四月のことです。

◆「三体千字文」の一課題からスタートしましたが、憲照先生の穏健中正で気品のある毛筆手本が好評を博し、「硬毛一致」の新しいスローガンを打ち立てて毛筆部の充実を図り、本会の発展へとつながりました。

◆原点に返って、基本用筆と正しい崩し方をしっかり学びましょう。

〔千字文〕

四言古詩二五〇句、重複しない千字からなっており、聖徳・修養・修身・齊家等について述べられた習字手本であり、初學者の教科書でもあった。

梁の武帝(在位五〇二〜五四九)の命を受け、周興嗣が王羲之の筆跡中からまとめたといわれる。

〔解説〕

寒来暑往
秋收冬蔵

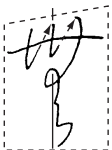
寒さが来れば暑さは去り、
秋は収穫し、冬は貯蔵する。

準初段から六段まで

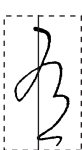
新入から1級まで

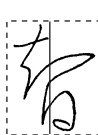
〔解説〕

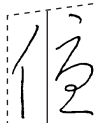
〔解説〕

無 

智 

有 

智 

優 

越 

◎「実画と虚画」文字を最も簡略化したものが草書。一画一点を省くこともあり、どうしても必要で、省くことのできない一画を実画と言います。また必要でない線、画を虚画と言います。

▶教範・書範は右課題を「行書」で、師範は「楷書」で出書して下さい。

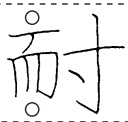
智はいつでも
智よりも優越する

おか だ りゅう ほう 書
岡 田 龍 芳 書

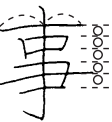
▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会段位用紙

中心線









	成	忍
フ	し	耐
ラ	遂	は
ン	げ	何
ス	る	事
		も

おお たに せい じょう 書
大 谷 清 城 書

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会級位用紙

★忍耐は：（書体Ⅱ楷書）

フランスのことわざ

先の大地震では、くしくも日本人の忍耐強さや礼儀の正しさが、世界中から賞讃を浴びることとなりました。

どんな過酷な状況下にあっても、辛抱強く粘り強く頑張れば、必ず報われるものです。

この日本人の素晴らしい国民性を発揮し、絆を深めて一日も早い復興を目指していききたいと思います。

◆6月課題予告（行書）

太陽の下

新しいものは

何ひとつない

★無智は：（書体Ⅱ行草または草書）

吉川英治（八五～一九六三）小説家

「宮本武蔵」より

無知であることは恥ずかしいという思いが誰にもありますが、なまじっか知識があるばかりに、慎重になりすぎて決断できずに終わってしまうことも少なくありません。むしろ知識や経験のない方が、怖いもの知らずで果敢に挑み、大きな成功へとつながるのです。

◆6月課題予告（楷書）

人は不快な記憶を

忘れることにより

防衛する

▼教範・書範Ⅱ行草または草書

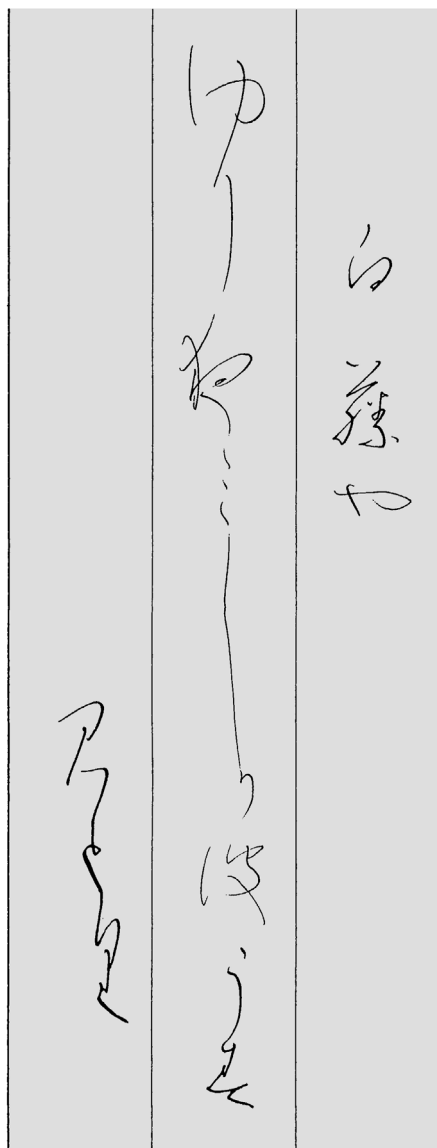
▼師範Ⅱ行書

締切り 5月25日(必着)

準初段から六段まで

新入から1級まで

白藤や揺りやみしかばうすみどり

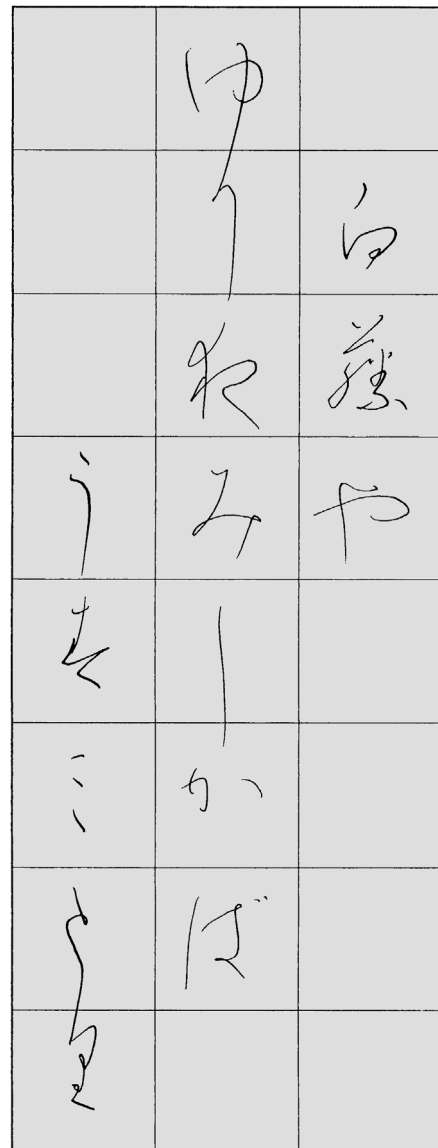


おお みや しゅん ちょう
大 宮 春 兆 書

▷用具=自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会段位用紙

白藤や揺りやみしかばうすみどり



おお みや しゅん ちょう
大 宮 春 兆 書

▷用具=自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会級位用紙

しらふち
白藤や揺りやみしかばうすみどり

芝不器男しばふきお

〔句意〕 風に吹かれて揺れ動く白藤の花は、白一色の美しい姿を際立たせている。しかし風が止み、揺らぎのおさまった白藤は、みずみずしい若葉につつまれた、薄緑色を呈ていしていることに気づかされたことである。

〔古筆参考〕

夜や
夜
夜
夜
夜

可か
く
く
く
く
く

波は
は
は
は
は

春す
春

里
里
里
里
里

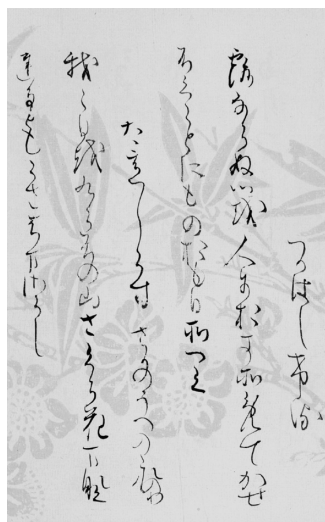
◆ 6月課題予告

わらんべの涙はなもわかばを映うつしけり

(室生犀星)

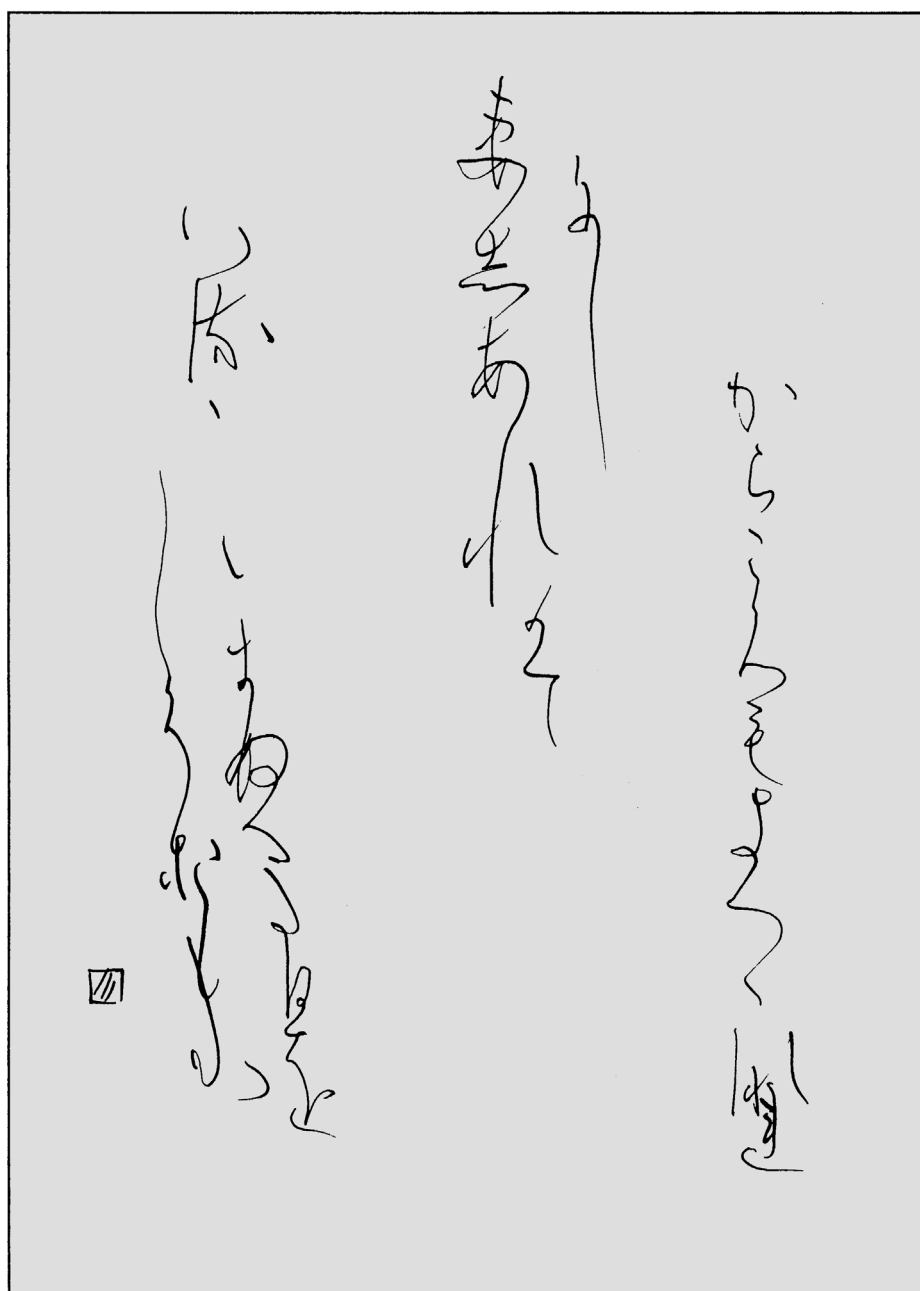
〔古筆参考〕

ほん あ み ぎれ
本阿弥切



締切り 五月二十五日（必着）

やな
瀬 舟 香 書
せ しゅう こう



つかはしける
露ならぬ心を人におきそめてかぜ
ふくごとにものおもひぞつく
だいしらず さかのうへのこれのり
我こひをくらふの山（の）さくら花まなく
ちるともこさはまさらじ

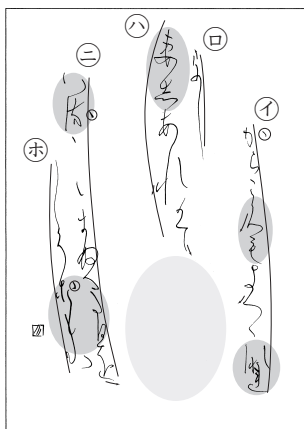
〔解説〕

（新潮日本古典集成）

ありわらのなりひらのあ
在原業平朝臣
唐衣着つ、なれにしつましあれば
はるばる来ぬる旅をしぞ思ふ

〔歌意〕唐衣を着るにつけてしなやかに身に慣れる襟、そのように長年むつみあった妻をひとり都に残している、だからひとしお、遥々やって来た旅の悲しさが、身にしみて感じられる。

〔出典〕古今和歌集



- ①と②、①と③、①と④、②と⑤、②と⑥、それぞれ呼応。
- 大きな間。
- 行の中の密の動き大切。
- の方向に注意。
- 点の位置大切。

本阿弥切の特徴（一）

- 1、文字が小粒。
- 2、連綿線が少ない。
- 3、律動的。（リズム感がある）
- 4、文字と文字が接近している。

参考資料「日本書道辞典」

「古筆に学ぶ」共に二玄社

◆6月課題予告

狩り暮らし 織女に宿からむ
天の河原にわれは来にけり

締切り 5月25日(必着)

先日、箱根の大涌谷^{おおわくだに}に寄り、一つ食べると七年寿命が延びるという名物の「黒たまご」を頂きました。真っ黒な殻は奇妙でしたが大変美味です。温泉にもつかって身も心も若返ったような気がします。

先日、箱根の大涌谷に寄り、一つ
食ぶると七年寿命が延びるとい
ふ名物の「黒たまご」を頂きました。
真っ黒な殻は奇妙でしたが大変
美味です。温泉にもつかって身も
心も若返ったような気がします。

◎手本は水性ボールペン使用

作品の出し方

- 新人から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙Ⅱはがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具Ⅱはがき、横書き課題ともに自由。(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

横 書 き 課 題

おか じま けい せん
岡 嶋 桂 川 書

パリを通過する子午線の100万分
の1が1メートルと定められた。

群馬県安中市 氏 名

※手本は、つけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆漢字課題

締切り 5月25日（必着）



口海爰自所歴

準初段から師範まで

奥村暢之臨

〔出典〕集字聖教序（672）〔筆者〕王羲之法書より集字

〔読み〕口海に（波濤す）爰に歴る所の国より、

千山翠色添

新入から1級まで（楷書）

澤静雨書

〔読み〕千山翠色を添う

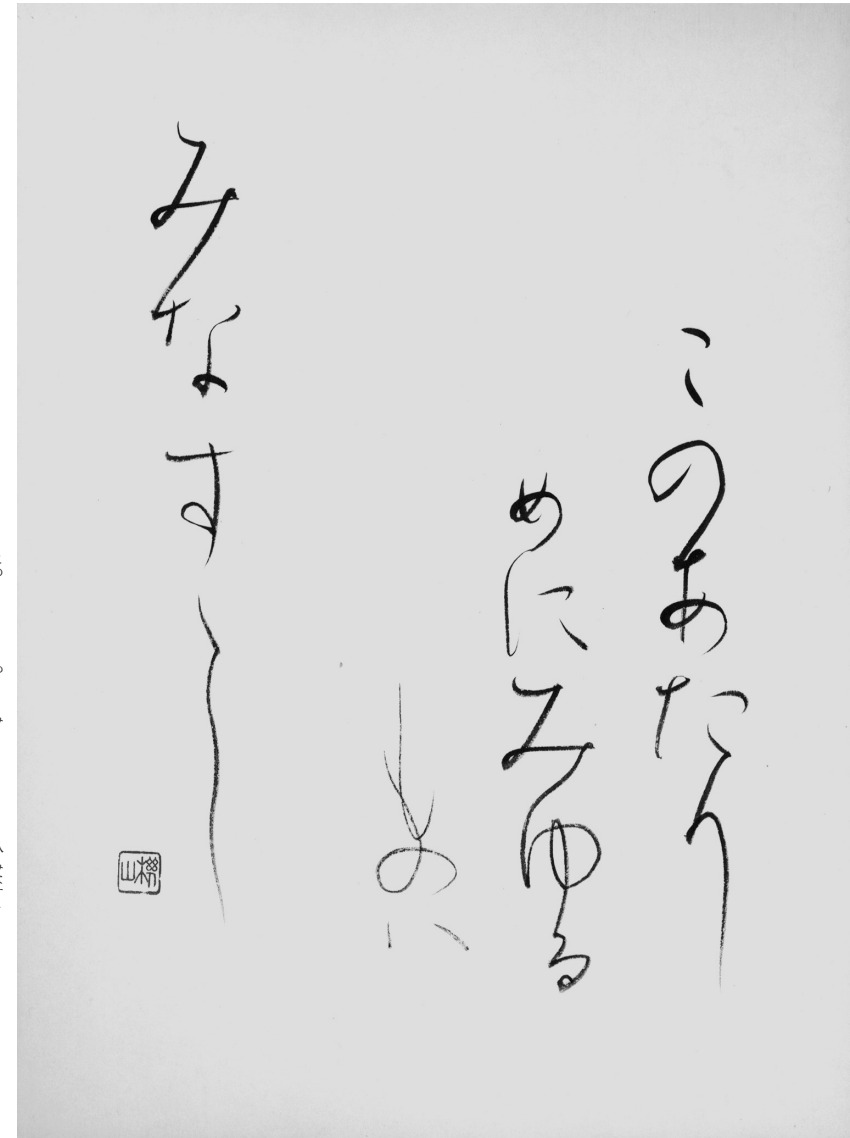
〔大意〕多くの山々がみどり色に輝いて一しお鮮やかである。

一般部毛筆かな課題

締切り 5月25日（必着）

新入から1級まで

浅井機山先生書

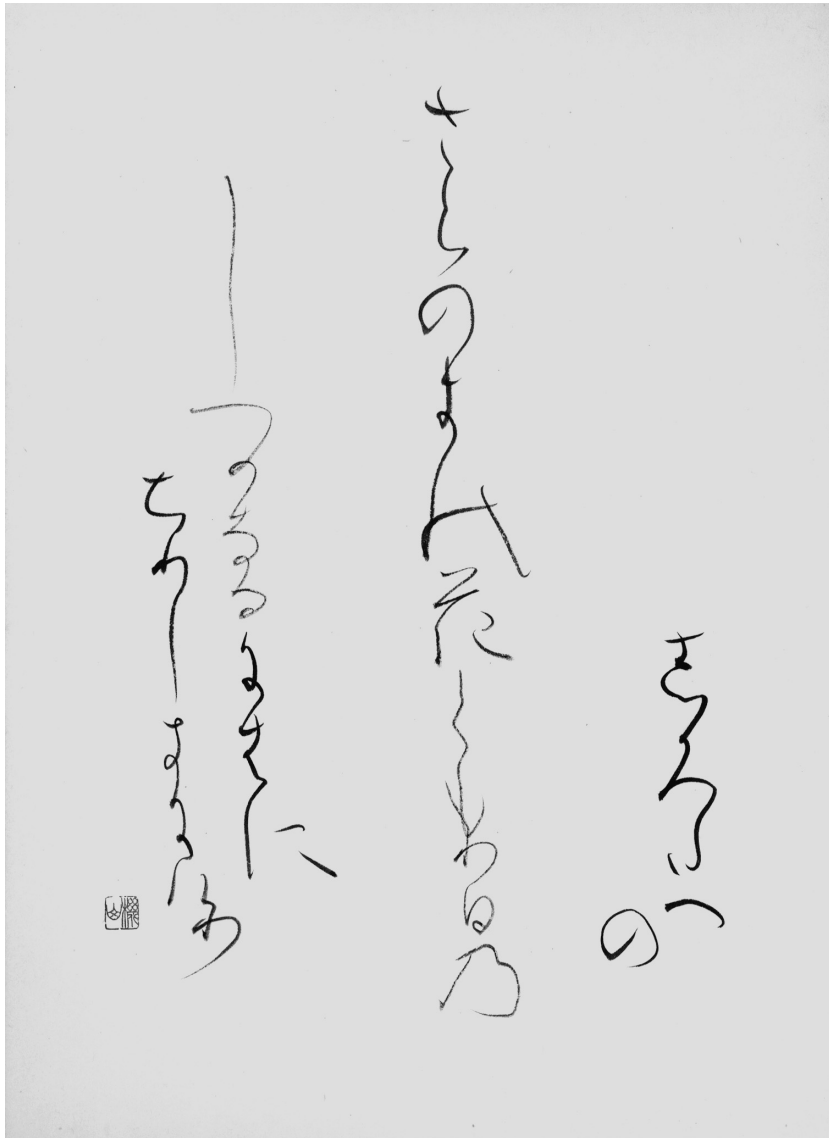


〔出典〕 松尾芭蕉

〔句意〕 岐阜の油屋加島亭での吟。「十八楼の記」がある。ここ十八楼からながめる景物のすべては涼味にみつるものだ、の意。

準初段から師範まで

■ 両課題とも文字の変換、ちらし方は自由です。



〔出典〕 斎藤茂吉

〔歌意〕 沙羅の木の花よ、くもり日のしづかな庭に、その真っ白な花が散り敷いていることよ。

白妙の沙羅の木の花くもり日のしづかな庭に散り敷いていることよ。

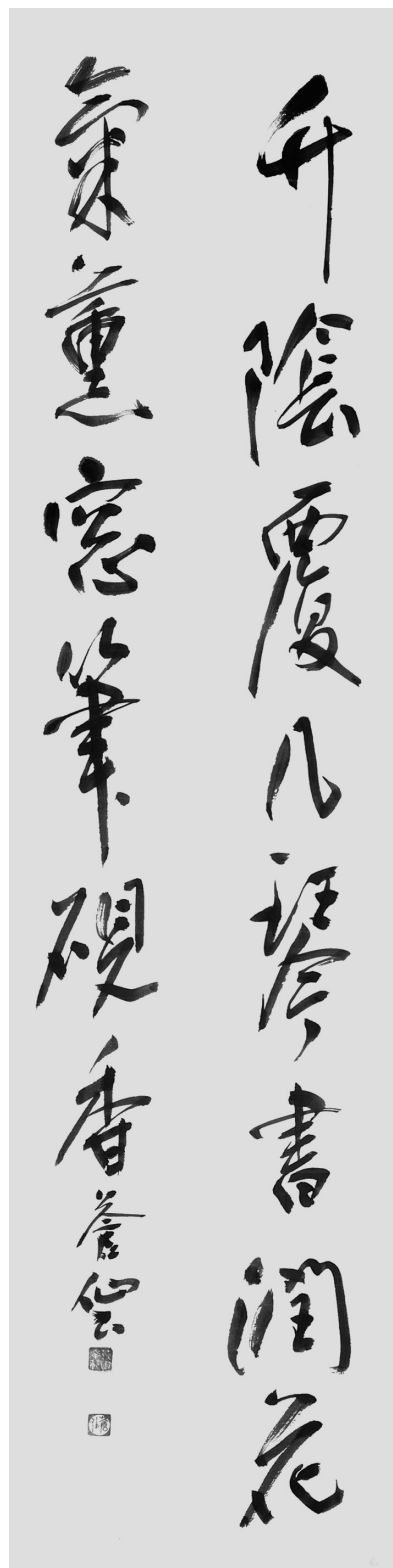
一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題

締切り 五月二十五日（必着）

半切（一三六cm×三五cm）

荻田蒼仙書



竹陰霞几琴書潤花
氣薰窓筆硯香簫簞
〔大意〕竹の小かげは机上をおおって琴や書物がうるおい、花の香りは窓前に薫じて筆硯までもよいにおいがする。

初出品の方へ
支部名・会員番号・姓名・毛筆漢字成績を、作品左下に必ずお書き下さい。

〔条幅解説〕 七言二句の単体です。奇に走ることなく、自然体、平凡な作です。風変わりな古典やデフォルメが過ぎると、形が「くずれ」になりますので要注意。幕下が横綱のまねをしてはなりません。自己満足する事なく、批評を頂きながら一歩づつ前進しましょう。

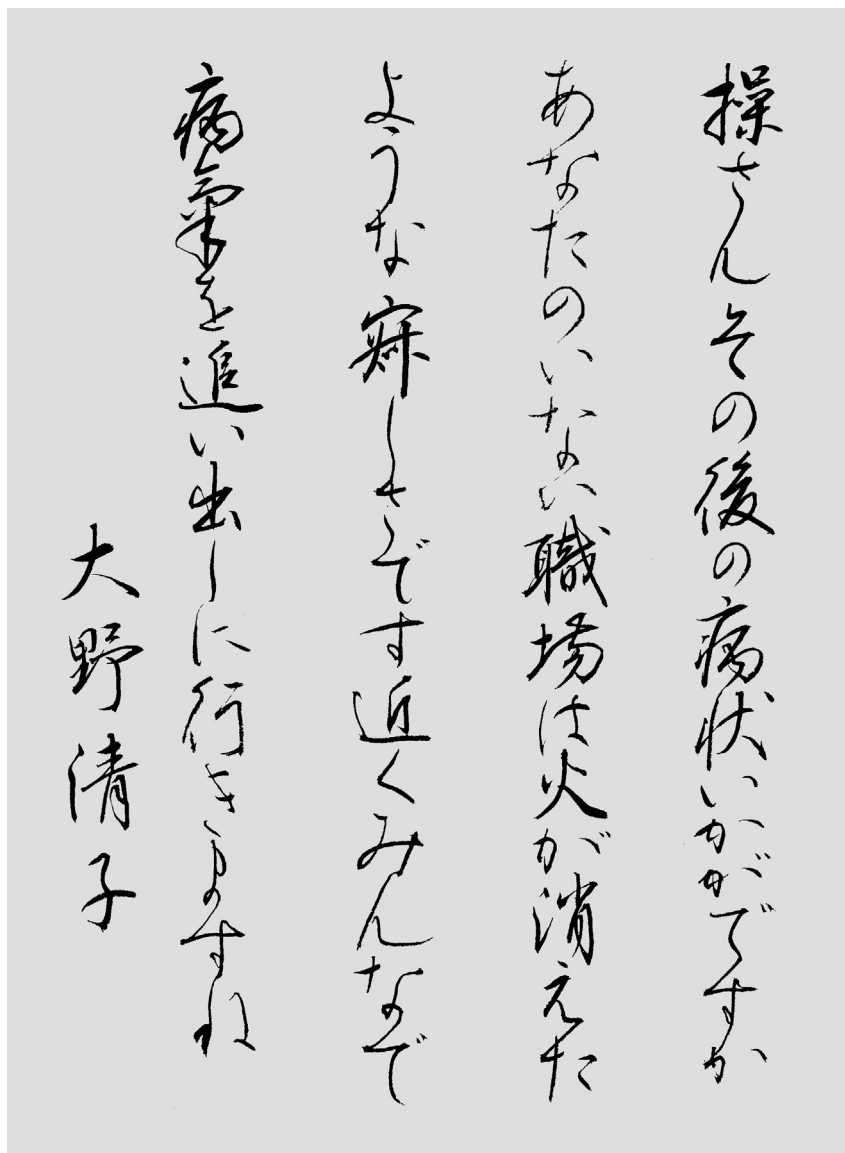
操さんその後の病状いかがですか
あなたのない職場は火が消えた
ような寂しさです 近くみんな
で病気を追い出しに行きますね

・印で墨つきしました。
〔条幅・細字作品の出し方〕
■ 新入から師範まで、どなたでも出書できます。
■ 成績（天位〜5等）は、評価により毎月変わります。
■ 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

（ご自分の氏名）

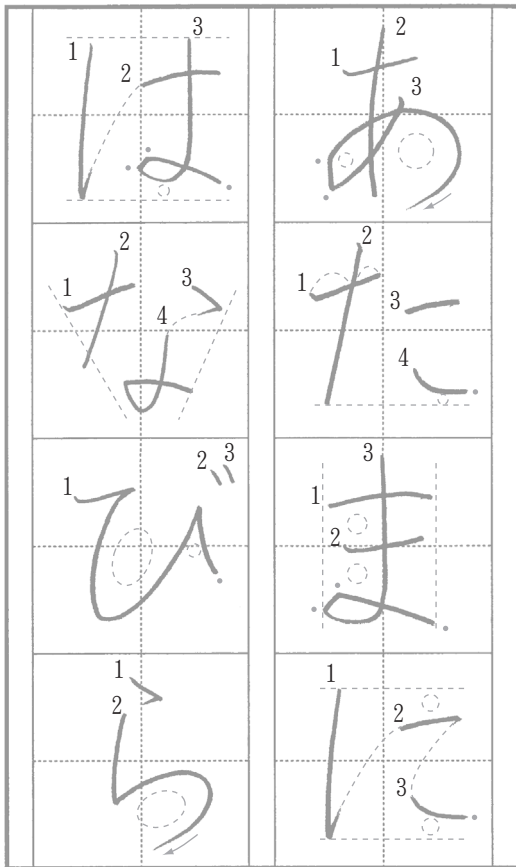
書 華 玲 田 樋

半紙（334mm×240mm）



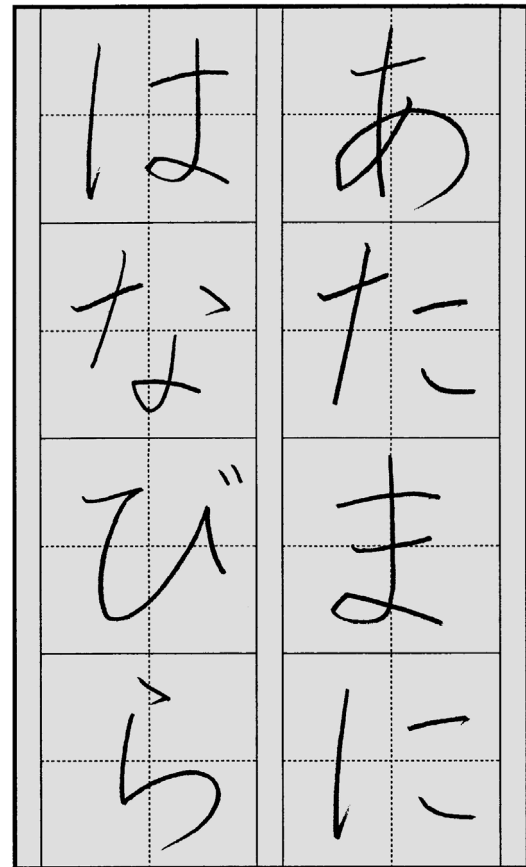
大野清子

〈ようぐ〉自由(黒色にかざる)



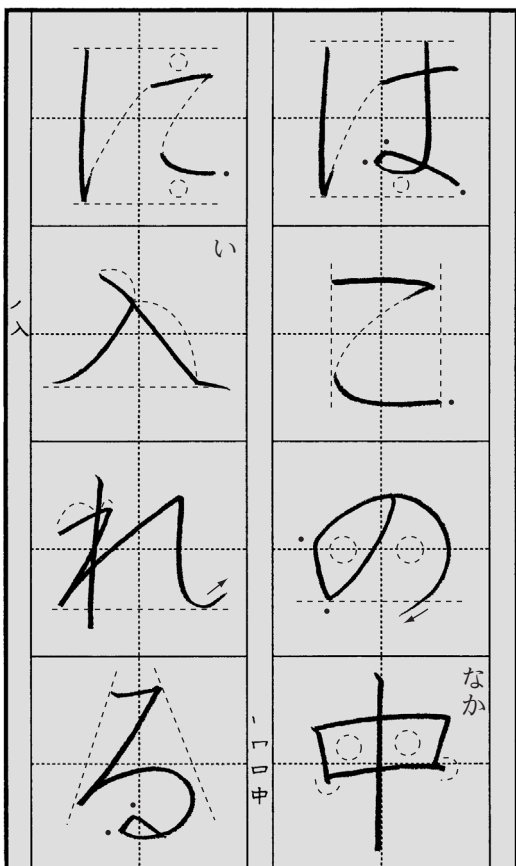
◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)

★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。



よ
う
年

幼年〜小三年 三宅容玉書



新入〜1級

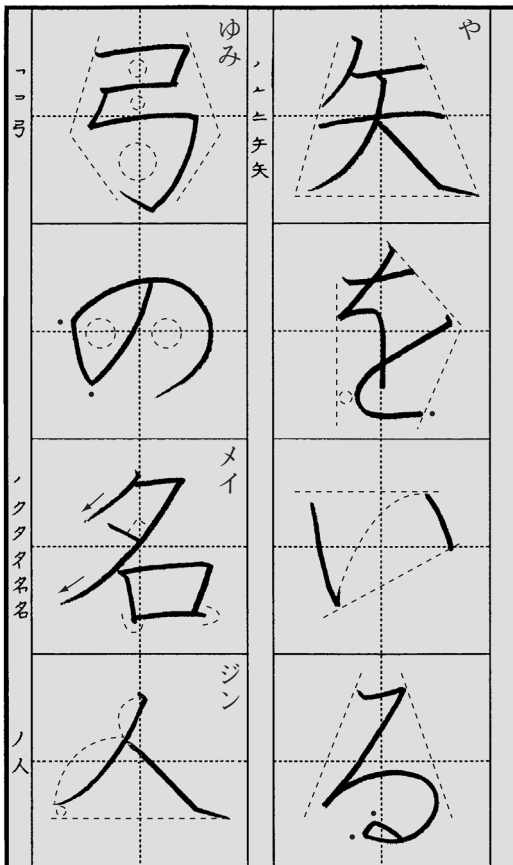
(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。



小
一
年

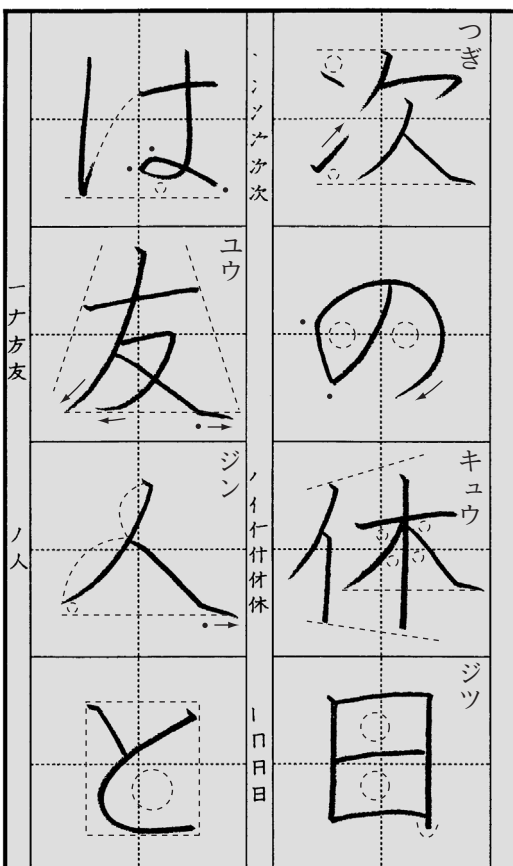
準初段以上

〈ようぐ〉自由(黒色にかざる)



小
二
年

準
初
段
以
上



小
三
年

準
初
段
以
上

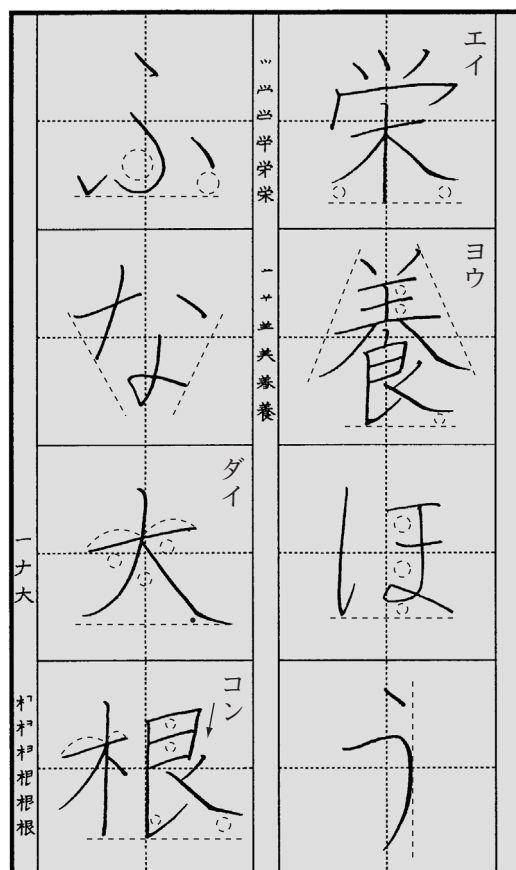
(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

新
入
1
級

新
入
1
級

小 四 年

(全員)



新四年生は、左記により、全員この手本どおり8マス用紙で出書してください。

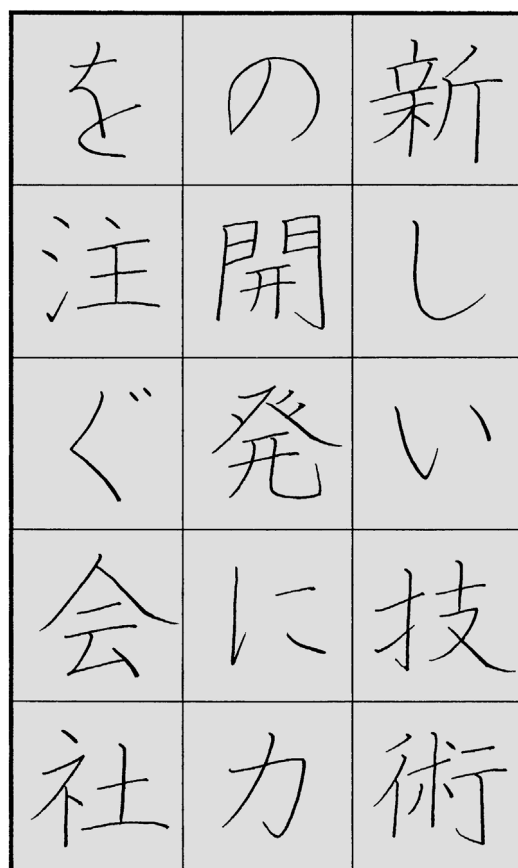
記

- * 用具は自由ですがデスクペン、つけペンで書く人は、硬くならず、のびやかに書く習慣をつけることが第一目的です。
- * 六月締切り分までは、この方法が続けます。
- * ペン書きの人は早く慣れるよう、たくさん練習をしましょう。
- * 七月締切り分からは、準初段以上は従来どおり15マス用紙を使用してください。

〈用具〉自由（黒色に限る）

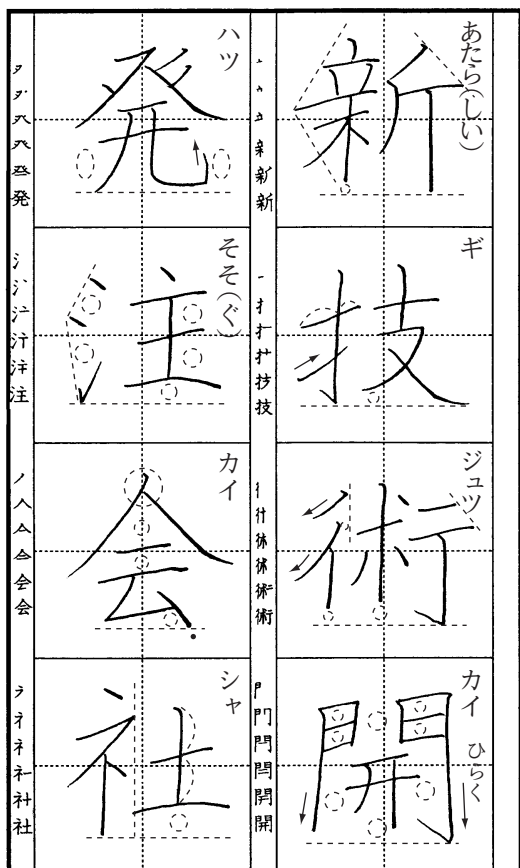
小 五 年

(全員)



小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

解説（よく見て習いましょう）



小四以上 須田 一葉書

小六年

に	新	若
ふ	緑	葉
く	の	か
南	野	お
風	山	る

(全員)

解説(よく見て習いましょう)

野	の	わか
山	やま	ば
南	みなみ	シン
風	かせ	リヨク

〈ようぐ〉自由(黒色に限る)

中一年 (楷書)

守	で	両
を	祖	親
預	母	の
か	と	外
る	留	出

中二・三年 (楷書)

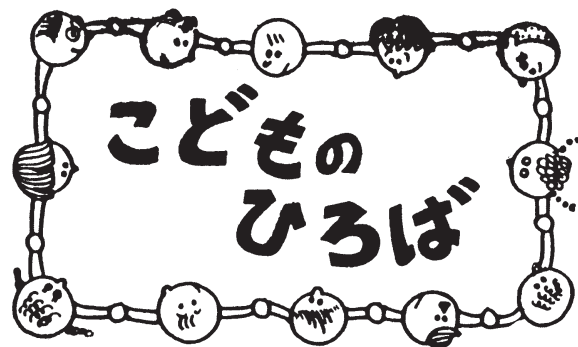
貴	を	恐
重	発	竜
な	掘	の
映	す	化
像	る	石

◎お手本は、つけペンで書きました。

▼小三年以下の課題 さ とう こう えん 佐 藤 香 園 書

部	か	五	母	こ
屋	ぶ	月	や	と
に	と	人	弟	も
か	を	形	と	の
ざ		や		日
っ				
た				

◎お手本はえんぴつ使用



しめきり 5月25日(必着)

習っていない漢字は、
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題 や の ち せん 矢 野 千 仙 書

子	飛	朝	つ	通
育	び	か	ば	学
て	回	ら	め	路
に	り	晩	の	で
励		ま	夫	見
む		で	婦	た
よ				

◎お手本はつけペン使用

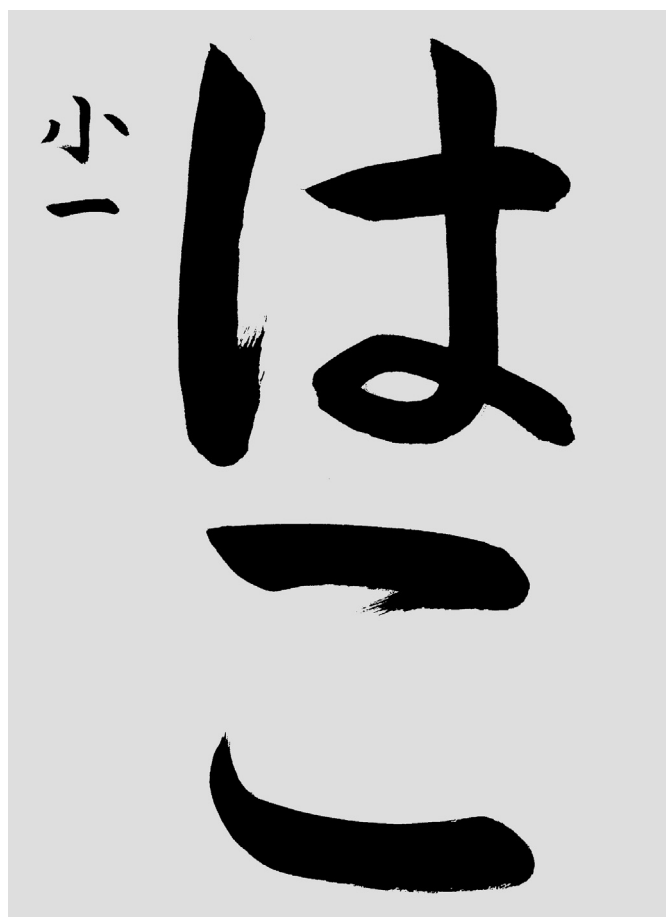
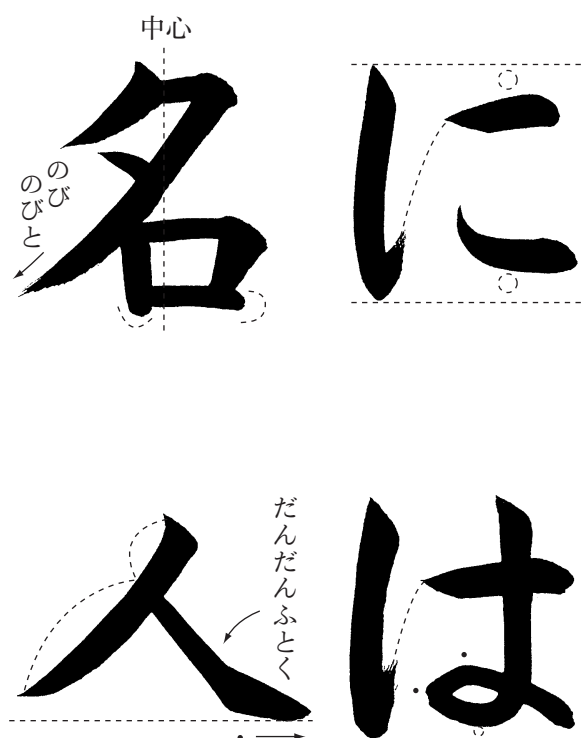
◇作品の出し方

- 一、選定用紙(五行・四行)に書いて下さい。
- 一、作品には、支部名(校名)学年、氏名を書き入れて下さい。
- 一、筆記用具は自由です。(黒色に限る)
- 一、四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
- 一、成績は評価により毎月変わります。
- 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。



幼年／小二年

玉樹小
華書



小五

開
発

小三

休
日

根 休
開 日
発 大

小四

大
根

小三・小五年

水野香竹書

中二・三

恐竜

小六・中二・三年

奥村暢之書

小六

南風

守 恐 竜
南 風 留

中一

留 守

第102回 硬筆検定試験受験要項

5月25日締切り

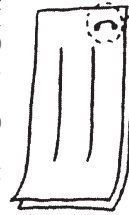
■受験にあたってご注意

▼検定受験者は、五月のすべての硬筆月例競書をお休み下さい。(短期特別課題は出品可)

▼一覧表の最高昇段級位というのは、各コースで取得できる最高の段、級位を示したものです。現在この段級位にある人は、それ以上のコースを受験して下さい。

■出品方法

▼作品は、必ず一覧表に明示した順序にそろえ、右肩をホッチキスでとじて下さい。



ただし教範コースは、上から、①規定②かな③はがき④教育部手本課題(小一から)⑤小論文⑥書歴(初回のみ。詳細は本部へ問合せ)の順にそろえ、ゼムクリップでとじて下さい。

▼検定作品と月例作品を同封する場合は、必ず、二つのビニール袋に分けて入れ、表に「検定」「月例」と明記して混同しないようにお願いします。

▼支局・支部には「検定作品出品明細書」を六月号配本時に同封しますから、所要事項記入の上、作品、受験料と同封して下さい。さらに、正確を期す上から受験者名簿を添付して下さい。

▼封筒に「検定受験」と朱書して下さい。

▼受験料は、為替か小為替で作品と同封するか、現金書留による送金に限ります。(振替、その他は不可)

●締切 平成二十四年五月二十五日(本部必着)

●送り先 大書心会検定試験係

●発表 平成二十四年八月号

▼肉筆手本希望者は、毎月裏表紙掲載の先生へ、現金書留(返信用封筒同封)でお申込み下さい。

(左記料金は、一点についての金額です。ただし、コピー手本・添削料は半額といたします)

一般部三段コースまで(規定・かな) ……一、〇〇〇円

規定 ……一、二〇〇円

活字課題 ……一、六〇〇円

教育部 ……六〇〇円

◆一般部1級・三段コース

コース	課題	最高昇段級位	課題	規定			かな	はがき	計	受験料
				楷書	行書	草書				
一般部	1級コース	1級まで	下掲課題 (級位用紙使用)	1	1		(イ)1	—	3	1、500
	三段コース	三段まで	下掲課題 (段位用紙使用)	1	1	1	(□)1	—	4	2、000

▶かな……大宮春兆書

▶規定……奥村憲照先生書

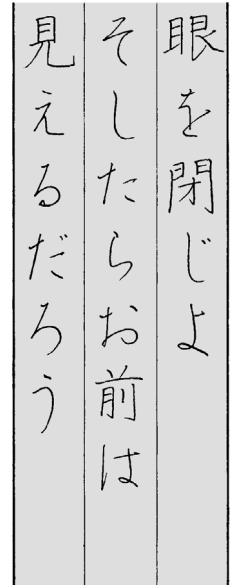
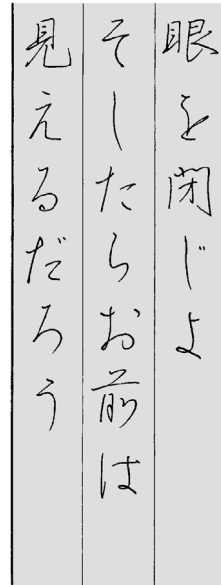
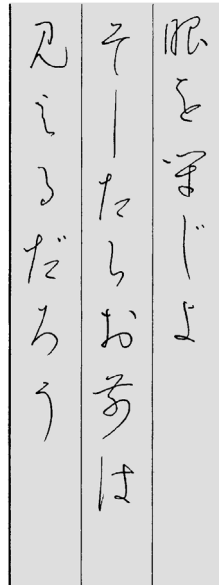
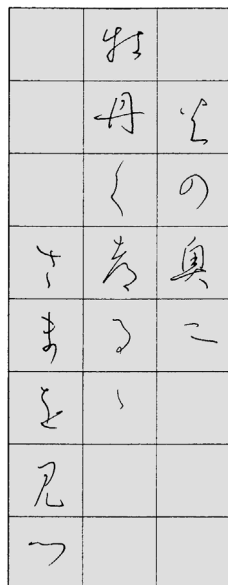
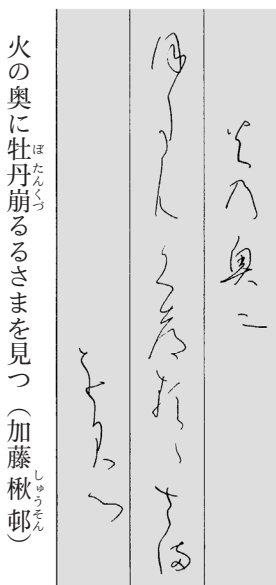
課題(□)
段位用紙

課題(イ)
級位用紙

《行草または草書》
段位用紙

《行書》
段位用紙

《楷書》
段位用紙



◎1級コースは級位(マス目)用紙使用のこと。

◆一般部書範・教範コース

◆教育部普通・会友コース

◎師範試験は、毎年二月に単独で実施しています。

コース	課題	受験資格	最高昇級段位	課題	規定			かな	はがき	計	受験料
					楷書	行書	草書				
一般部	書範コース	・有段者 ・支局・支部長	書範まで	下記3科目活字課題	1	1	1	(□) 1	1	5	2,800
	教範コース	・書範 ・支局・支部長	教範	下記3科目活字課題 教育部手本課題 小論文(私の学習法)	1	1	1	1	1	10	4,000
教育部	普通コース	——	5月しめきりの月例競書課題 ※筆記具は自由							1	400
	会友コース	・四段以上の中学生 ・準会友の小学生	5月しめきりの月例競書課題と下記活字課題 ※筆記具は自由							2	700

◎筆記用具は自由としますが、教育部手本課題のみ指定があります。ご注意ください。

■書範・教範コース受験のきまり

- 一、書範・教範コース受験は、上掲一覧表のと通りの受験有資格者に限ります。
- 一、教範コースは単位合格が認められますが、すでに単位を取得されていても、受験の際は改めて全科目(小論文不要)を提出して下さい。ただし、合格科目については、審査の対象から除きます。
- 一、単位合格は、二年以上検定試験を受験しないと無効になります。

書範・教範コース課題

規定

両コース共通

- 楷・行・草(行草)、三体提出(段位用紙使用)

幸福なる生活は

心の平和において

成り立つ

かな

- ▼書範コース……前頁かな(□)課題(段位用紙使用)
- ▼教範コース……左記の和歌を、本会かな用紙にち

うぐいす
鶯の谷より出づるこゑなくは
らし書きにして下さい。

春くることをたれか知らまし(古今和歌集)

はがき

両コース共通

新緑の候、行楽には絶好の季節となりました。今我が家では、最近購入したワゴン車の試運転を兼ね高原へのドライブを計画中ですが、ご一緒しませんか。童心に帰って子供たちと大いに遊びましょう。

(はがき用紙使用)

教育部手本課題

教範コースのみ

- 左記の学年で計四枚

用具Ⅱ えんぴつ

小 1	女の子が
本をよむ	

用具Ⅱ えんぴつ

小 3	ハ長調の曲
は明るい感	
じがします	

用具Ⅱ 鉛筆以外

小 4	平和のた
めに努力	

用具Ⅱ 鉛筆以外

中 3	学級新聞に
掲載の原稿	
を募集する	

(行書)

(注)氏名は、各学年に合わせてお書き下さい。

(小1年はひらがなで書くなど)

小論文課題

教範コースのみ

- ▼題名「私の学習法」
- 四百字詰原稿用紙二枚(八〇〇字)以上

※原稿用紙二枚半程度にままとするとよい。

※用具は自由。(鉛筆不可)

会友コース課題

- ▼五月締切りの自分の学年の月例課題一枚
- ▼左の活字課題の行書一枚

計二枚を一組とし、右肩をとじます。

用具Ⅱ 自由

万物は聖な
る愛にやり
動かされ

(行書)

第62回 毛筆検定試験受験要項

6月25日締切り

■受験にあたってご注意

▼検定受験者は、六月のすべての毛筆月例競書をお休み下さい。(短期特別課題は出品可)

▼一覧表の最高昇段級位というのは、各コースで取得できる最高の段、級位を示したものです。現在この段級位にある人は、それ以上のコースを受験して下さい。

■出品方法

▼作品は、必ず一覧表に明示した順序にそろえ、右肩をホッチキスとして下さい。

ただし教範コースは、上から、①漢字②かな③細字④教育部手本課題⑤条幅⑥書歴(初回のみ)。詳細は本部へ問合せ)の順にそろえ、ゼムクリップでとじて下さい。

▼検定作品と月例作品を同封する場合は、必ず、二つのビニール袋に分けて入れ、表に「検定」「月例」と明記して混同しないようにお願いします。

▼支局・支部には「検定作品出品明細書」を七月号配本時に同封しますから、所要事項記入の上、作品、受験料と同送して下さい。さらに、正確を期す上から受験者名簿を添付して下さい。

▼封筒に「検定受験」と朱書して下さい。

▼受験料は、為替か小為替で作品と同封するか、現金書留による送金に限ります。(振替、その他は不可)

●締切 平成二十四年六月二十五日(本部必着)

●送り先 大書心会検定試験係

●発表 平成二十四年九月号

▼肉筆手本希望者は、毎月裏表紙掲載の毛筆担当の先生へ、現金書留(返信用封筒同封)でお申込み下さい。

(左記料金は、一点についての金額です。ただし、コピー手本・添削料は半額といたします)

※条幅の原寸大のコピー手本はありません。

一般部1級・三段コース

漢字半紙……一、〇〇〇円
細字・かな……一、五〇〇円

漢字半紙……一、二〇〇円
細字半紙……一、二〇〇円

条幅……三、五〇〇円
細字幅……一、七〇〇円

教育部……八〇〇円
細字……一、七〇〇円

活字課題 五段コース以上
会友コース

◆一般部1級・三段コース

コース	課題	最高昇段級位	課題	漢字		かな	細字	計	受験料
				楷書	行書				
一般部	1級コース	1級まで	下掲課題	1	1	1		3	1、500
	三段コース	三段まで	20ページに掲載の漢字・かな・細字	1	1	1	1	4	2、000

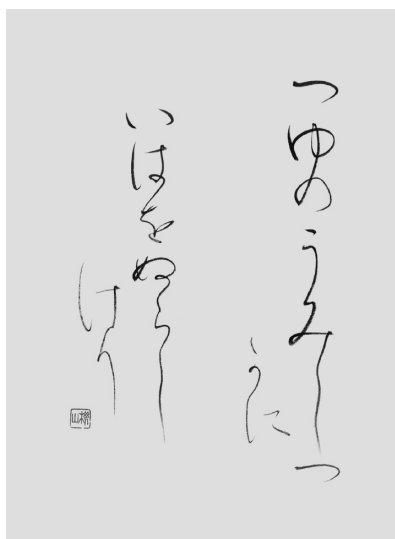
〔1級コース課題〕

《かな》

《行書》

《楷書》

梅雨の海静かに岩をぬらしけり(前田普羅)



浅井機山先生書

始めを敬して終わりを思う



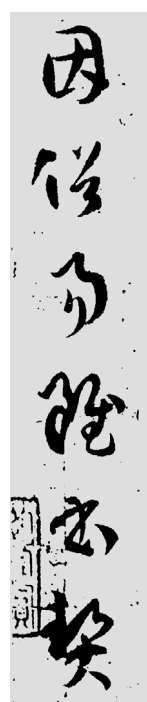
澤



静雨書

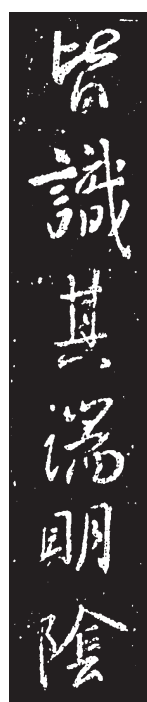
コース	課題	受験資格	最高昇級位	課題	漢字			かな	細字	条幅	教育手本	計	受験料
					楷書	行書	草書						
一般部	五段コース	有段者 支局・支部長	五段まで	下記(活字)	1	1	1	1	1	—	—	5	2,500
	書範コース	有段者 支局・支部長	書範まで	下記(活字)	1	1	1	1	1	1	—	6	3,000
	教範コース	書範 支局・支部長	教範	下記(活字)	1	1	1	1	1	1	2	8	4,000
教育部	普通コース	—	6月しめきりの月例競書課題									1	400
	会友コース	四段以上の中学生 準会友の小学生	6月しめきりの月例競書課題と下記活字課題(行書)									2	700

◎師範試験は、毎年2月に単独で実施しています。



▼書譜

因俗易難書契



▼集字聖教序

皆識其端明陰



▼孔子廟堂碑

質稟生徳而降

図版で示した三つの法帖の各六文字を、それぞれ半紙に臨書して下さい。

漢字

五段コース以上共通(半紙)

五段・書範・教範コース課題

- 五段・書範・教範コース受験のきまり
- 一、五段・書範・教範コース受験は、上掲一覧表のとりの受験有資格者に限ります。
 - 二、教範コースは単位合格が認められますが、単位を取得されても、受験の際は改めて全科目を提出して下さい。ただし、合格科目については、審査の対象から除きます。
 - 三、単位合格は、二年以上検定試験を受験しないと無効になります。

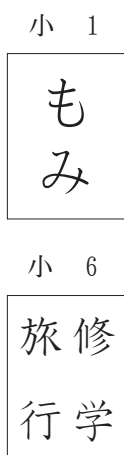


(行書)

会友コース課題

- ▼六月締切りの自分の学年の月例課題一枚
- ▼上の語句の行書一枚
- 計二枚を一組とし、右肩をとじて出品のこと。

※氏名は、各学年に合わせてお書き下さい。
(小1年はひらがなで書くなど)



教育部手本課題

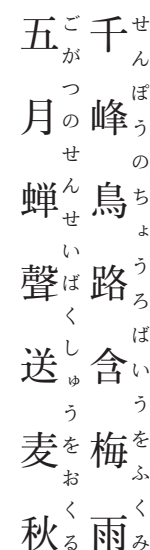
教範コースのみ(半紙)

母校創立五十周年の記念事業として
書道部卒業生による書展を開催する
運びとなりました 多数ご高覧賜り
ますようご案内申し上げます

細字

五段コース以上共通(半紙)

次の語句を、行書または行草体で体裁よく書いてください。



条幅

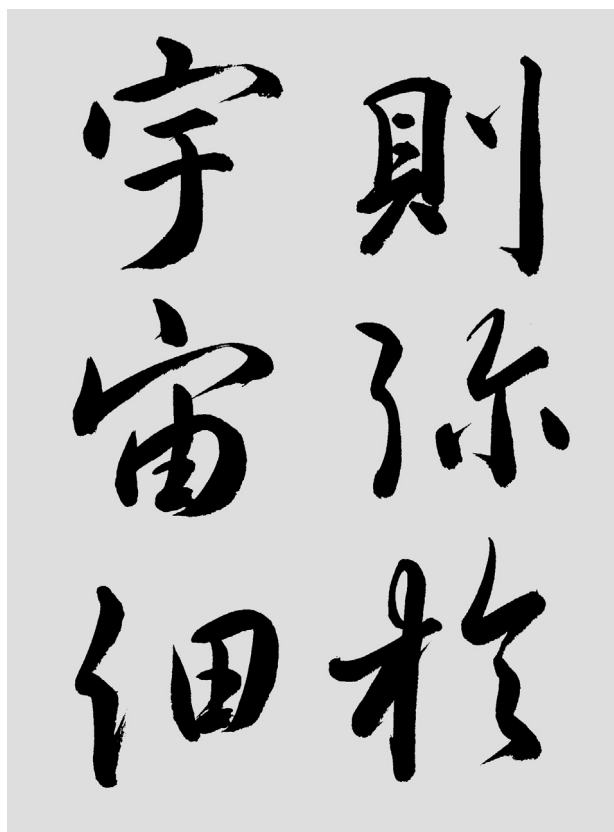
書範・教範コース共通(画仙紙半切)

次の語句を、画仙紙半切に体裁よく書いて下さい。

- かな 三段コース以上共通(半紙)
- 次の和歌を、かな半紙にちらし書きにして下さい。
 - ◎ひるながら幽かに光る螢ひとつ
孟宗のやぶを出でて消えたり(北原白秋)
 - ※20頁参照

◆毛筆検定試験三段コース課題

《集字聖教序》



則
弥
於
宇
宙
細

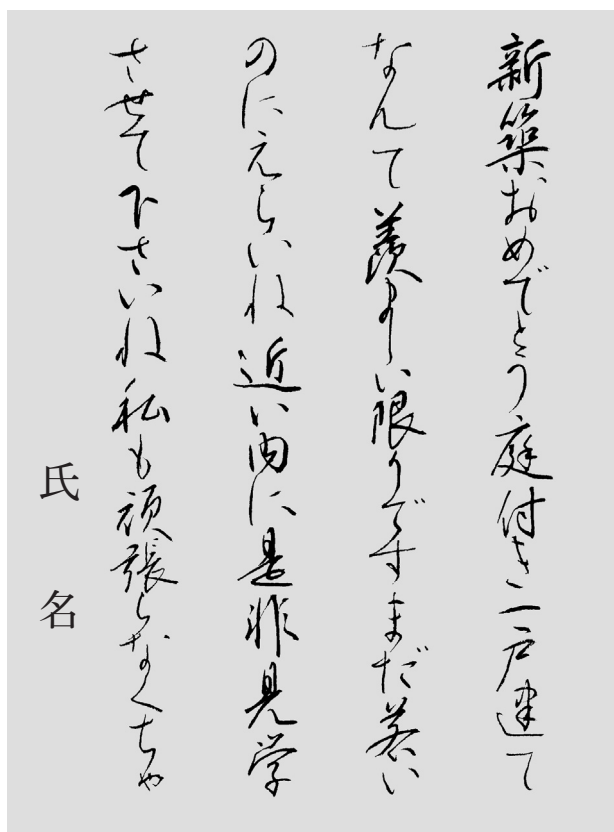
《孔子廟堂碑》



明
兼
日
月
道
藝

神谷葵水先生臨

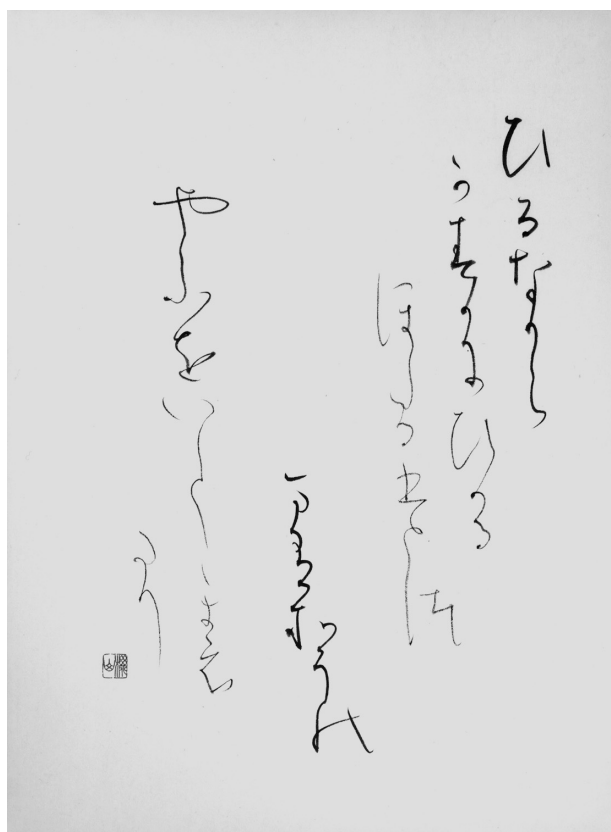
《細字》



氏
名

樋田玲華書

《かな》



ひるながら幽かに光る螢ひとつ
孟宗のやぶを出でて消えたり(北原白秋)

浅井機山先生書

※かな・細字課題は六月の月例課題を兼ねます。